

規格・認証を活用した加工食品の輸出環境整備事業

【令和6年度予算概算決定額 32（39）百万円】

＜対策のポイント＞

加工食品に係る日本発の規格・認証を活用した輸出を拡大するため国際標準化の環境整備を支援します。
また、中小事業者等が国際標準の食品安全マネジメントシステムを導入するために必要な人材を育成する取組を支援します。

＜事業目標＞

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

＜事業の内容＞

1. JFS規格の国際標準化支援

- ①日本発の食品安全マネジメント規格であるJFS規格の国際標準としてのステータスの維持・向上のため、規格の承認機関であるGFSI（世界食品安全イニシアティブ）が主催する会議等における情報収集やGFSIが講じる新たな承認要件に対応する規格の策定に必要な取組みを支援します。
 - ②国産食品の輸出先として有望なマーケットである東アジア・東南アジア地域において輸出機会の拡大を図り、高品質の裏付けとなるJFS規格の認知度の向上を加速するため、現地におけるJFS規格のニーズの開拓、現地において規格認証の審査等を行う認証機関・人材の育成等を支援するとともに海外の規格との相互承認等の連携に必要な調査等を支援します。
- さらに、国内外の食品関係事業者等に対するJFS規格に関するセミナー及びJFS規格取得事業者の製品の商談会の開催を支援します。

2. JFS規格の認証取得拡大支援

輸出潜在力の高い国内の中小事業者の認証取得に向かう地ならしとして、食品安全マネジメントに関する知識等を事業者に着せさせるため、人材育成の研修会の開催を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

